2022年3月期
3Q決算

(2021年4月-12月)

2022年1月28日

KDDI株式会社

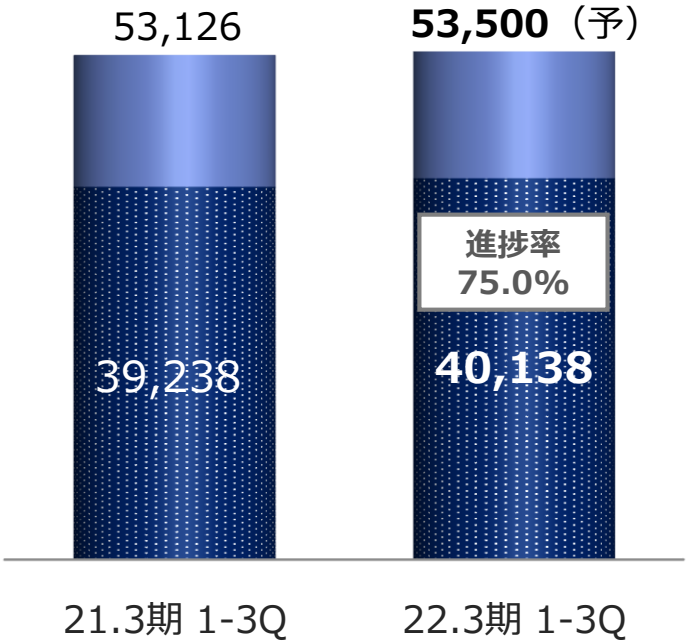
1. 22.3期1-3Q
連結業績・各種KPI

1-3Q連結業績ハイライト

通期予想に向けて順調な進捗

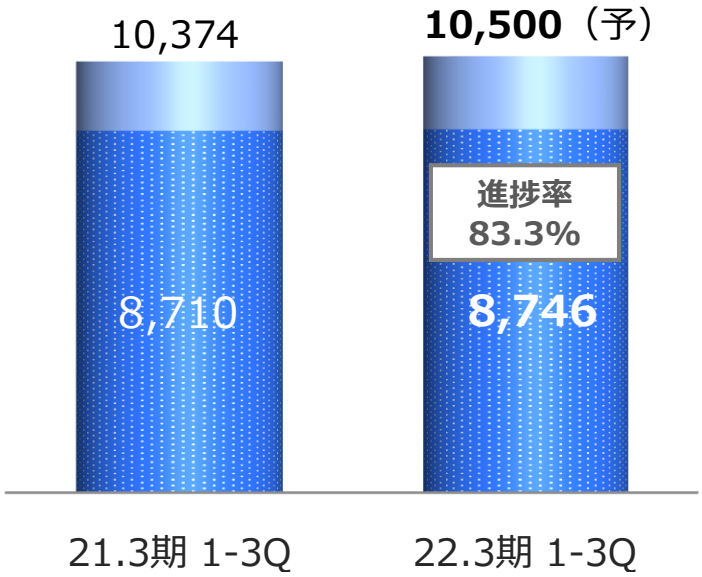
売上高

(単位：億円)



営業利益

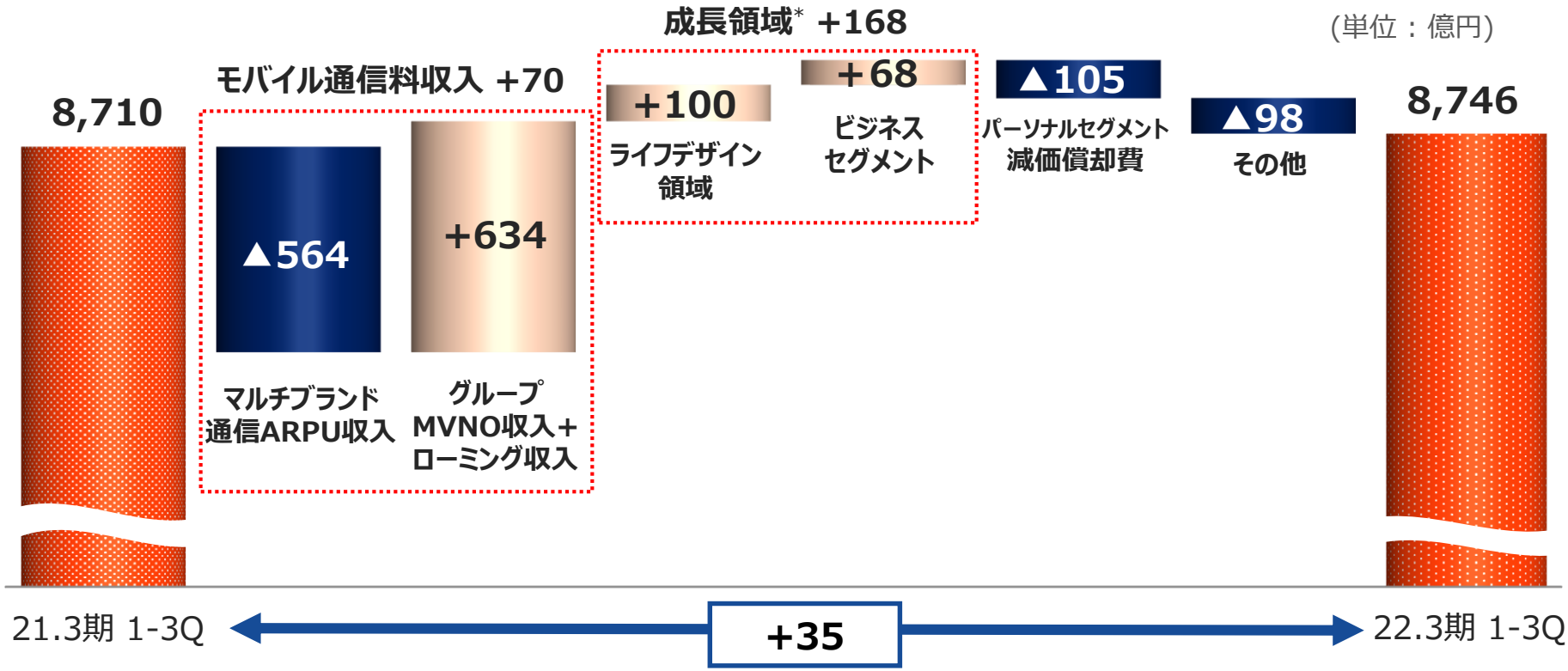
(単位：億円)



1-3Q連結営業利益 増減要因

モバイル通信料収入と成長領域が貢献

(単位：億円)

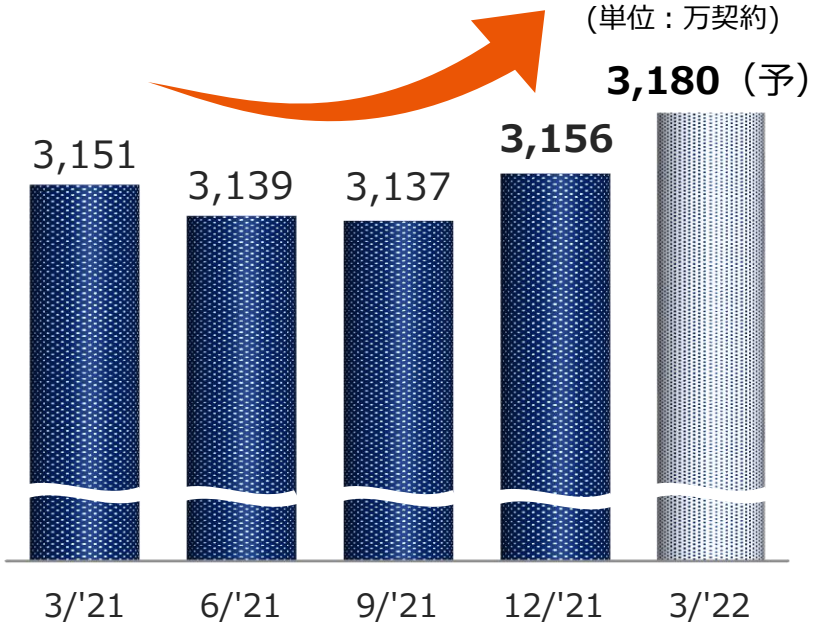


*ライフデザイン領域およびビジネスセグメント

グループID

マルチブランド戦略の推進により、IDは3Qで純増反転

グループID数



au

- ✓ 5Gエリアの拡がりとともに5G端末販売が順調

UQ mobile

- ✓ 自宅セット割やショップ全店での取り扱い効果が顕出

povo（オンライン専用）

- ✓ 「ゼロから、君のやりかたで。」2.0本格開始

注） パーソナルセグメント

5G端末

販売台数は順調に増加。データ需要も拡大

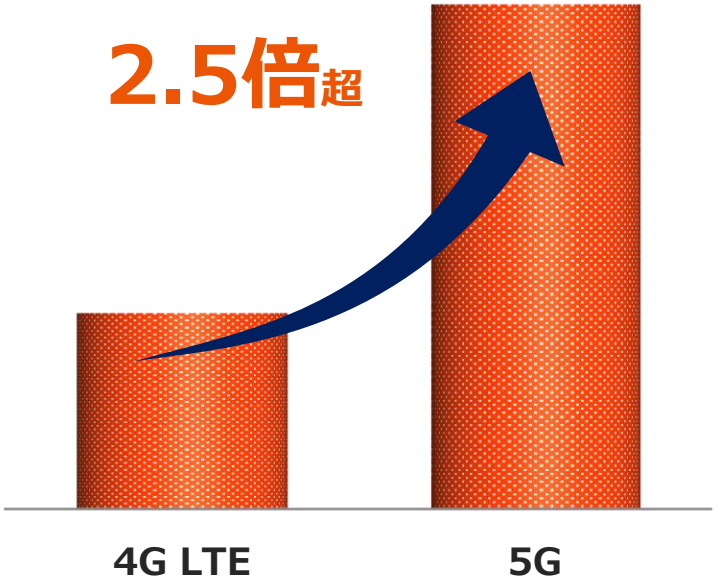
5G端末 累計販売台数

通期800万台を目指す

2021年12月末 620万台

一人あたりモバイルデータトラフィック*1

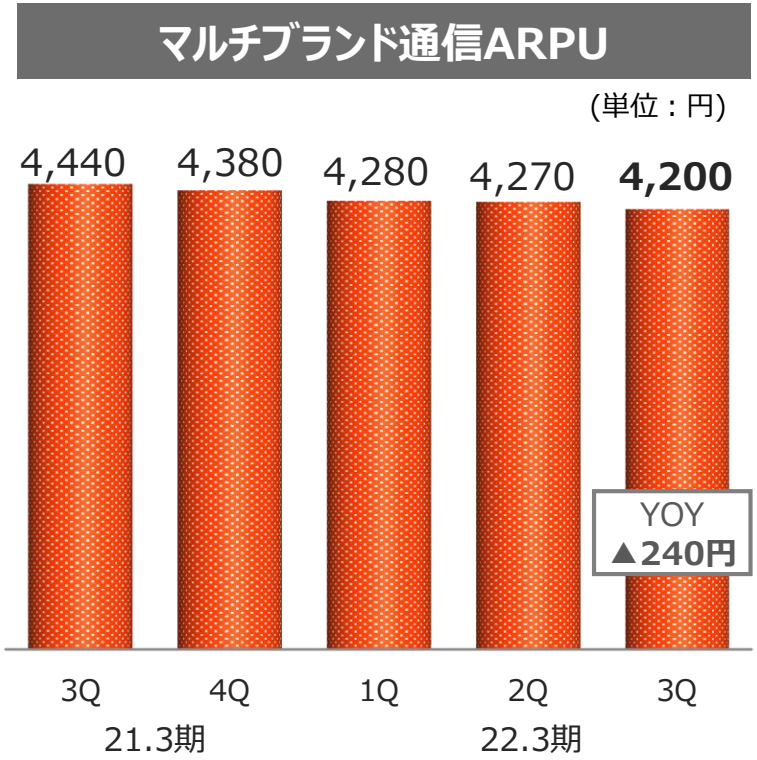
2.5倍超



*1 22.3期3Q auのスマートフォンベースにおける実績
注） パーソナルセグメント

マルチブランド通信ARPU

5G効果とブランド構成の変化により当初想定内で推移



注）パーソナルセグメントベース

au

✓ 5G端末の順調な販売にともなう使い放題プランの選択増

UQ mobile povo（オンライン専用）

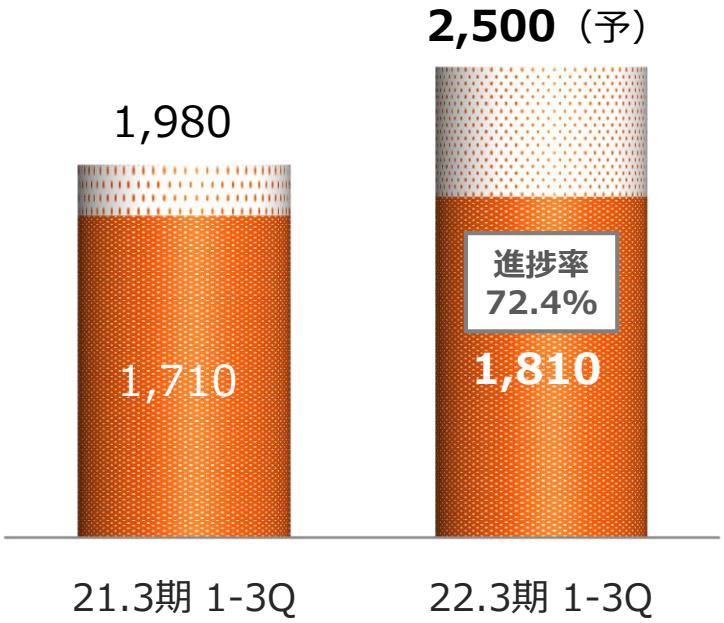
✓ UQ mobile、povoの契約者増

1-3Q 成長領域業績

4Qに大きく増益見込み、通期予想に対し順調な進捗

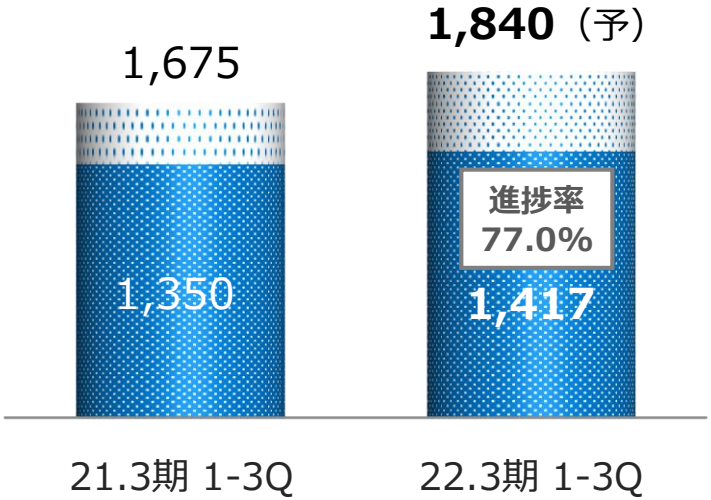
ライフデザイン領域 営業利益

（単位：億円）



ビジネスセグメント 営業利益

（単位：億円）



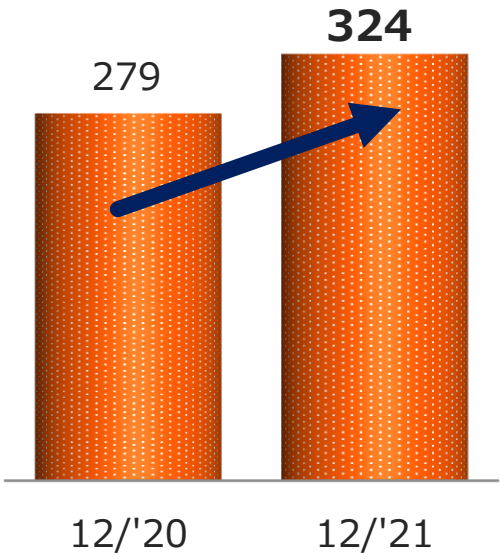
ライフデザイン領域 KPI

コアサービスのお客さま基盤が順調に拡大

auでんき等契約数

(単位：万契約)

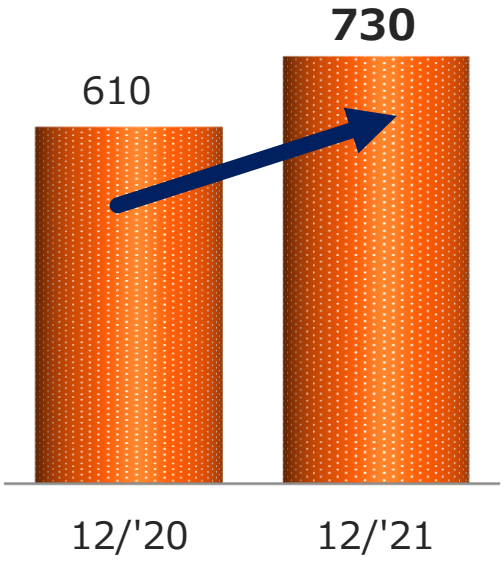
YOY **+45万**



au PAYカード会員数

(単位：万会員)

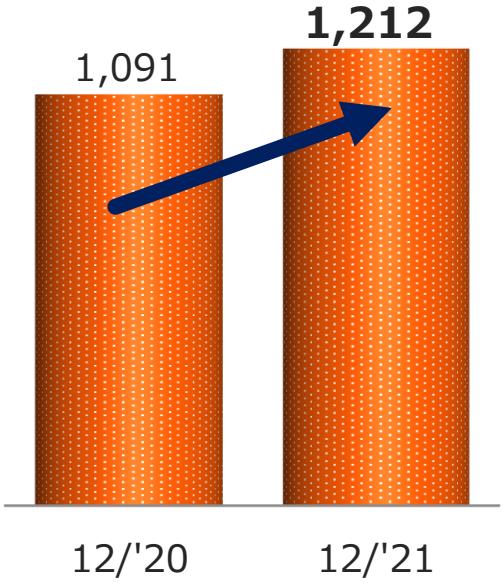
YOY **+120万**



auスマートパスプレミアム会員数

(単位：万会員)

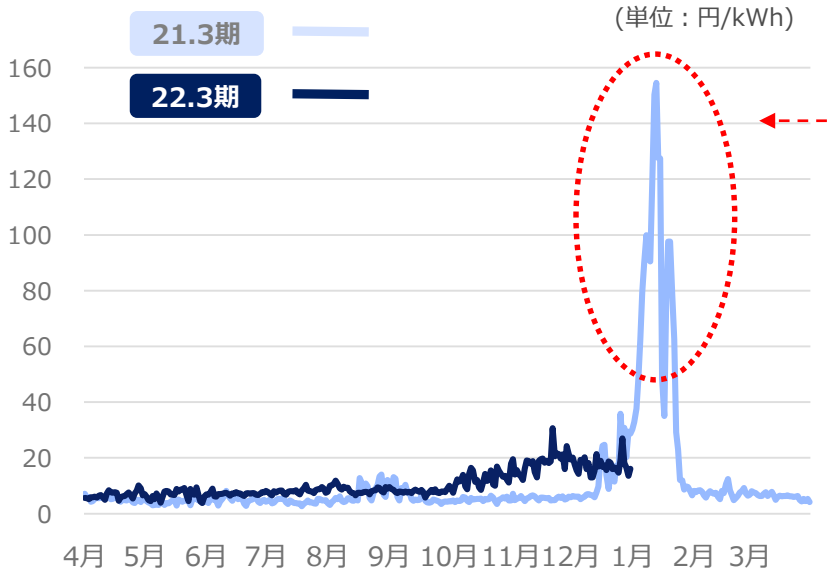
YOY **+121万**



エネルギー事業

コストコントロールを目的に相対電源比率を引上げ

卸電力市場（JEPX*）の価格推移



(出典)JEPX 取引情報：スポット市場

*一般社団法人 日本卸電力取引所（Japan Electric Power Exchange）

21.3期4Q

✓ JEPX価格高騰 による調達コスト増

地域電力会社等からの安定的な相対電源の調達比率を引上げ

22.3期4Q

✓ ボラティリティ回避による増益を見込む

ビジネスセグメント　売上高

NEXTコア事業がビジネスセグメントの成長を牽引

NEXTコア事業（DX）

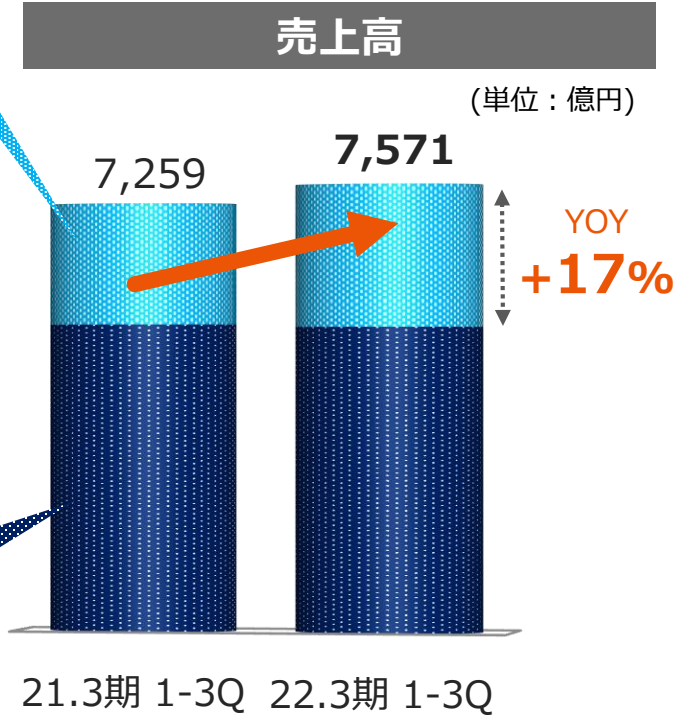
① **コーポレートDX** (テレワーク、ゼロトラスト*、SaaS 等)
② **ビジネスDX** (IoT、クラウド 等)
③ **事業基盤サービス** (データセンター、コールセンター 等)

シナジー

IDの拡大、
エンゲージメントの向上 等

コア事業（通信）

通信サービス (モバイル、固定、従来型ソリューション 等)



* 社内・社外すべてのトラフィックを信頼せず、サービスのアクセス時などデバイスごとに検査、ログ取得を行うことで、セキュリティを強化する考え

2. トピックス

ずっと、もっと、つなぐぞ。au

生活動線を支える安心・信頼のネットワークを目指す

5Gネットワーク

5Gエリアの拡大を広く知っていただく取り組みをパートナーと共に推進

2022年3月末

関東 **21** 路線（予）

関西 **5** 路線（予）

アーティスト30名×山手線30駅
人と人を、人と場所を「つなぐ」

運用拠点のDXを強化

自動化を取り入れた東西2拠点監視で災害時でもつながる安心へ

- 21年7月　東京新運用拠点を開設
- 21年11月　大阪運用拠点を東京と同機能に刷新

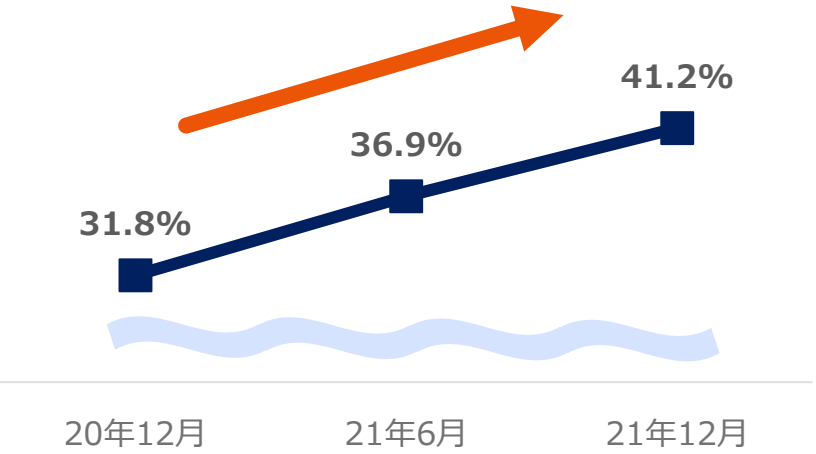
注)5Gは一部エリアで提供

OTTパートナーとの連携

5Gで利用意向が高まる動画サービスを拡充

動画サービス*利用意向

5Gにおける利用意向は着実に上昇



エンタメをリードする
OTTパートナーのサービスをさらに拡充

使い放題MAX 5G ALL STAR パック

NETFLIX
Music
YouTube Premium
TELASA
amazon prime
DAZN
GEFORCE NOW POWERED BY au

22年2月
対象サービス拡充

* KDDI調べ （アンケート調査） 国内5G利用者（他キャリアも含む）のうち、Amazonプライム／Netflix／DAZN／TELASAいずれかの「利用意向」がある割合
20年12月421名回答、21年6月1,272名回答、21年12月1,703名回答　注)5Gは一部エリアで提供

メタバース

リアル都市連動型のメタバースを牽引

ユースケースの蓄積

バーチャル渋谷 ハロウィーンフェス
来場者数は延べ50万人超を達成

「バーチャルシティコンソーシアム」発足

安心して利活用するためのガイドライン
策定に向け、自治体や省庁と連携

モビリティ新規事業

移動を、
感動に
変えてゆく。

パートナーと共に
『都市』と『地方』のヒト・モノ・コトをつなぎ
社会課題の解決に取り組む

12月発表

mobi
Community Mobility
RESPECT YOU, au

移動の自由度向上により
地域の活性化へ

- ✓ WILLER様と共同事業会社設立
- ✓ 半径2km圏内「ちょい乗り」サービス
- ✓ 地域の皆さまと共にさらに広がる全国へ

2月詳細発表予定

ドローン新会社

「KDDIスマートドローン」

KDDIスピンオフベンチャー

コネクティッドの拡がり

国内主要自動車メーカーへの提供を拡大

TOYOTA　SUBARU　SUZUKI　他

Tomorrow, Together
KDDI

グローバル通信プラットフォーム

各国で異なる通信回線を統合管理し、高品質通信を提供

世界 5 地域まで拡大*　**欧州・中国・豪州・日本・北米**

* KDDIがサービスを提供しているエリア。自動車メーカー毎に展開エリアは異なる

グローバルデータセンター

高コネクティビティの強みを活かし、東南アジアにも拡充

TELEHOUSEの強み

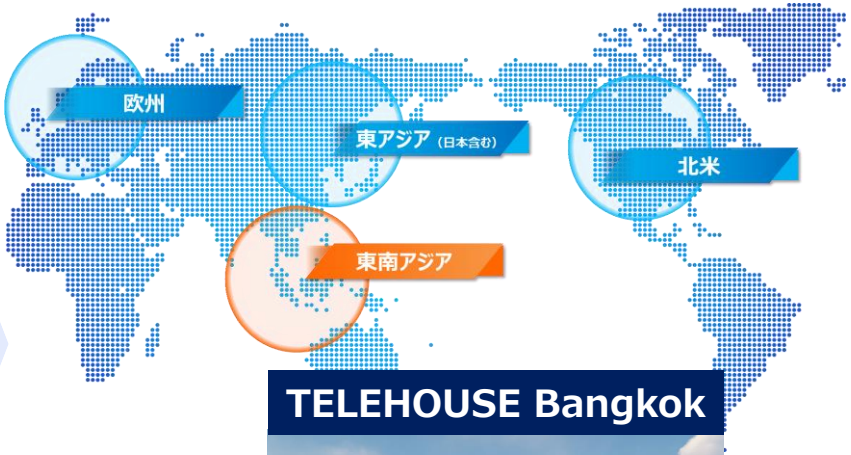
インターコネクションデータセンターを積極展開

コネクティビティ世界No.1* ロンドン

コネクティビティ仏国No.1* パリ

レジリエントで高品質なインターネット接続環境を通信事業者、メガクラウドと共に実現

欧州の成功事例を東南アジアに



TELEHOUSE Bangkok

* 出典：ピアリングDB 21年12月時点

サマリー

マルチブランド戦略に加え、新たな取り組みを推進

業績・KPI

- ✓ 1-3Q業績は順調な進捗
- ✓ 5G推進とマルチブランド戦略が奏功、グループIDは純増に反転
- ✓ 成長領域は順調に進捗、4Qに大きく増益見込み

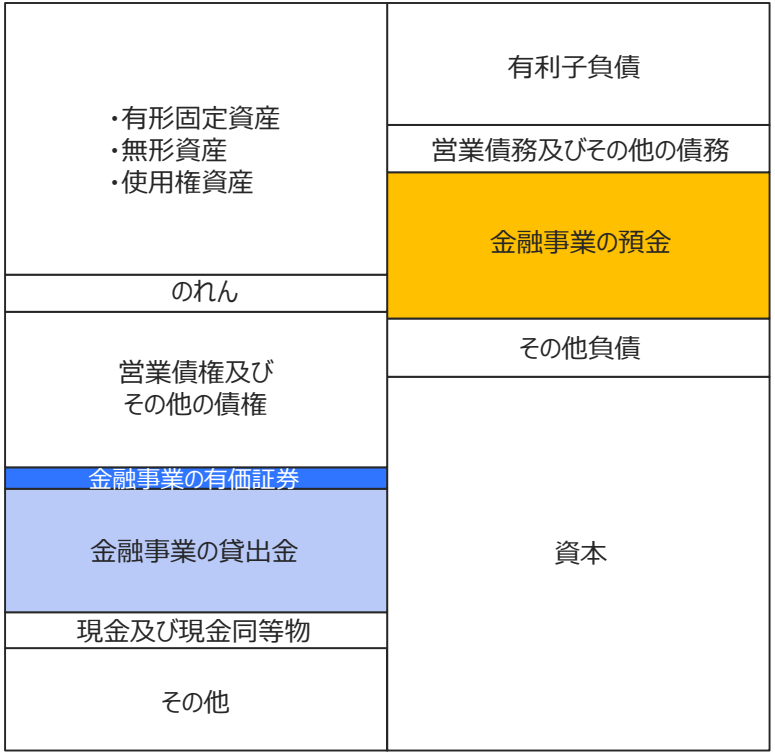
トピックス

- ✓ 動画サービスやメタバースにより5G時代のエンタメを牽引
- ✓ モビリティ分野の新たな取り組みにより、社会課題解決に貢献
- ✓ コネクティッドカーやデータセンターをはじめ、グローバル事業の強みを活かしNEXTコア事業（DX）を推進
- ✓ 自己株式の取得枠を500億円拡大

Appendix

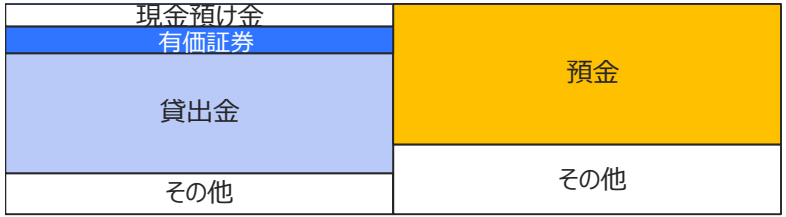
財政状態計算書・貸借対照表（2021年12月末）

総資産 10.84兆円



KDDI(連結)

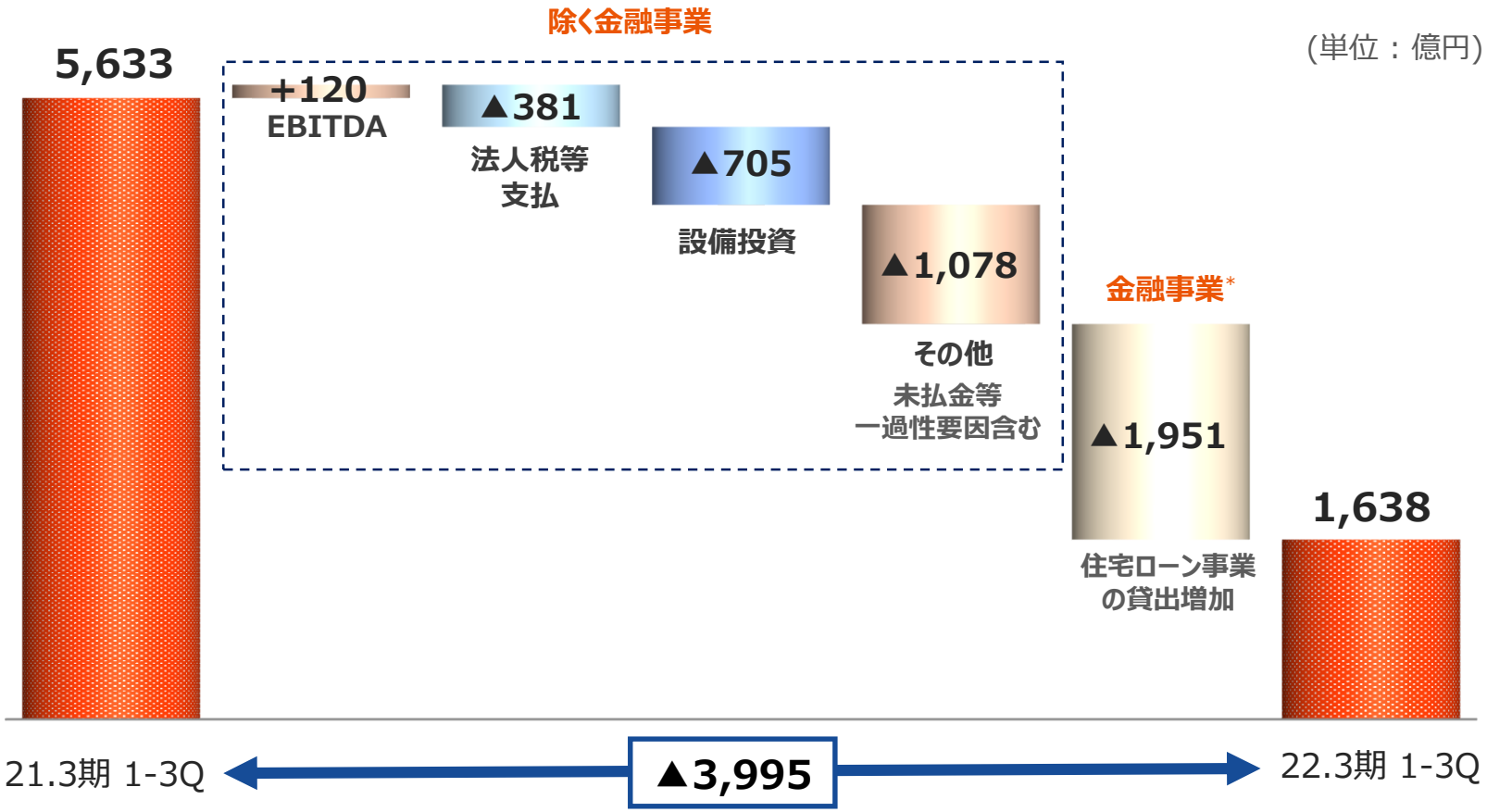
総資産 3.17兆円



auフィナンシャルホールディングス(連結)

注) KDDI(連結)はIFRS、auフィナンシャルホールディングス(連結)は日本基準にて作成

1-3Q フリー・キャッシュ・フロー 増減要因



＊ 決算短信の連結キャッシュ・フロー計算書に記載がある金融事業に関するキャッシュ・フロー

連結業績のポイント

項目	1-3Q実績 (YOY)	概要
営業利益	8,746億円 (+35億円)	【成長領域*】 ✓ 成長領域は通期予想に対して順調に進捗 ✓ ライフデザイン領域において、エネルギー事業がコストコントロールを目的に相対電源比率を引上げた結果、YOY減益。4Qにボラティリティ回避による増益を見込む 【3Q（10-12月）におけるその他のYOY増益要因】 ✓ 減価償却費の減少 ✓ 端末購入サポートプログラムに係る引当金の減少
フリー・キャッシュ・フロー	1,638億円 (▲3,995億円)	【除く金融事業】 ✓ 未払金等の一過性要因等により、YOYキャッシュアウト増 【金融事業】 ✓ 住宅ローン事業の貸出増加により、YOYキャッシュアウト増

*ライフデザイン領域およびビジネスセグメント

Tomorrow, Together

KDDI

免責事項

この配付資料に記載されている業績目標、契約数目標、将来の見通し、戦略その他の歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは国内外の情勢、経済環境、競争状況、法令・規制・制度の制定改廃、政府機関の行為・介入、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。
従って、実際の業績、契約数、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。